

2025年2月17日

報道関係各位

公立大学法人北九州市立大学
三菱総研DCS株式会社

北九州市立大学と三菱総研DCS株式会社が産学連携協定を締結 ー産学共同で実践的教育を進め、ビジネス課題解決能力の育成とデジタル人材の創出ー

公立大学法人北九州市立大学(学長:柳井 雅人、以下 北九州市立大学)は、三菱総研DCS株式会社(代表取締役社長:亀田 浩樹、以下 DCS)と互いの特性を活かし、幅広い分野で相互に協力することにより、地域社会の人材育成と地域活性化に寄与することを目的とした産学連携協定をそれぞれ締結しました。

特に北九州市立大学が2027年4月に開設予定である新学部「情報イノベーション学部(仮称・設置構想中)」において、協働で教育を行い、情報工学の先端技術を駆使する高度人材、GX 推進や地域社会の課題解決に寄与するデジタル人材の創出を目指します。

公立大学法人
北九州市立大学
THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU

1. 連携協定に基づき今後推進する取り組み

◆DCSの九州地域での活動について

2023年2月に北九州市にて設置した九州拠点準備室を経て、2024年4月には九州支社を開設し、同時期に北九州市と「立地協定」を締結しました。2024年8月からは「BIZIA KOKURA」に新オフィスを構え、精力的に活動しています。

主な活動目的は以下のとおりです。

- 高度人材育成とIT人材の裾野拡大
- 雇用創出による地域活性化
- 地域企業との協業や産学官連携による地域DX推進
- DX推進による課題解決ソリューションの創出

北九州市を基盤としつつ、今後は九州全域へも活動の幅を広げていく予定です。

◆北九州市立大学とDCSとの今後の取り組みについて

講師、メンターの派遣やインターンシッププログラム等、学生の課題解決能力の向上に向けた実践的な学びの機会を提供し、地域社会の発展と持続可能な未来の構築に貢献する人材を養成します。

<産学共同で推進する取り組み>

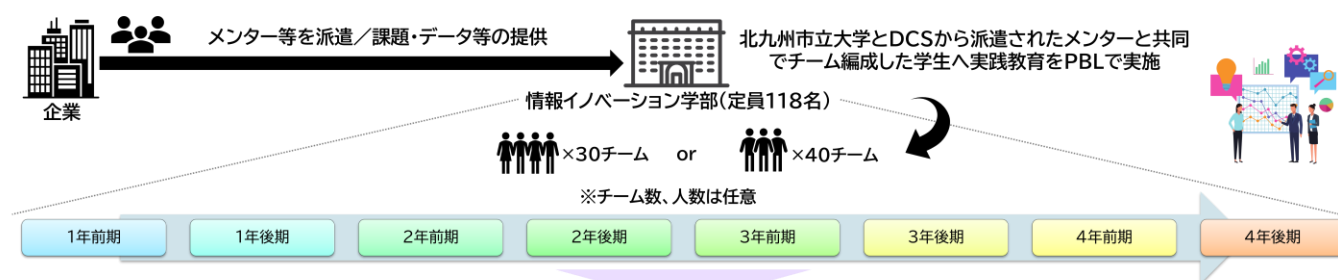
- ・PBL(Project-Based-Learning、課題解決型学習)のメニュー・テーマやカリキュラムの共同開発
- ・PBLの実施に向けた、DCSからの技術者・専門家の派遣・講義
- ・DCSによるインターンシッププログラムの開発、学生の受け入れ

2. 協定締結日

2025年2月17日(月)

【産学共同で PBL のイメージ】

- 本学教員と派遣された企業のメンターが協働でファシリテートを行い、学生が自己主導型で問題や問い、仮設などの立て方、問題解決に関する思考力や協働学修等の能力や態度を身に付けることを目的とするPBL(Project-Based-Learning)を実施
- 学生はテーマに応じてチームを編成し、チームで協力しながら、エビデンスに基づき提供された課題の解決策を発案。
学生各人が自分事として捉えた主体的な学修活動を4年間一貫通貫で実施

**情報工学の先端技術を駆使する高度人材・GX推進や地域社会の課題解決に寄与するデジタル人材を輩出**

<本件に関するお問い合わせ先>

北九州市立大学 新学部設置準備課 木下、上田

TEL:093-964-4035

E-mail:shingakubu@kitakyu-u.ac.jp

三菱総研DCS株式会社 広報部

TEL:03-3458-8214

E-mail:kouhou@dcsc.co.jp

<大学広報全体に関するお問い合わせ先>

北九州市立大学 企画戦略課広報係 石井、押領司

TEL:093-964-4196

※本リリースに掲載する社名等は、各社の商標または登録商標です。